

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- 11月25日(水) 福田 敦子 さん
 - 12月14日(火) 道 志郎 さん
- すべてピアノ演奏会となっております。

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。

休診のお知らせ

- 11月15日(月) 昭和大学創立記念日のため
 - 12月29日(水) ~ 1月3日(月) 年末年始のため
- 年末年始期間は、売店やレストランの営業時間も変更となります。ご注意ください。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
院内の案内について	『「時間外」とは何時から何時までなのか表示がなく、時間外に正面から出られなくて、出口に行くのにエスカレーターが動かず、どう行けば良いのか判らない。正面に行き方を表示すべき』とのご意見をいただきました。 正面玄関の施錠時間およびエスカレーターの停止時間は、平日 18:00、土曜 14:00 となっております。施錠後は、時間外出入口(中央棟地下1階、防災センター)よりの出入館となります。時間外出入口へは、会計横中央棟3基エレベーターより地下1階へお回りください。 正面玄関施錠後は時間外口のご案内の立看板を設置しておりますが、案内が分かりづらい部分については改善させていただきます。
バスマットについて	『お風呂の湯上りのところがすべるので、大きいマット等用意された方が良い。非常に危険と思います』とのご意見をいただきました。 10月より試験的に複数の病棟にてバスマットの下に滑り止めを敷いた結果、良い評価が出たため、すべての病棟におきましてバスマットの下に滑り止めを敷くよう改善致しました。また、すべりの原因としてバスマットの状態も影響することから交換につきましても注意を払うよう再度周知徹底致しました。
駐車場の利用について	『外来から近い駐車場は満車のことが多いにもかかわらず、業者の方が利用しているようです』とのご意見をいただきました。 当院利用の業者に対しては、納品等の特別な理由を除き、午前中に関しては当院の駐車場を利用しないよう周知徹底を致しました。午後につきましても中央棟の駐車については禁止とさせていただきますので、そのような方を見かけた場合は、防災センターまでご連絡ください。

編集後記

今年新潟県中越地震や立て続けに上陸した台風の影響で非常に多くの被害がありました。皆様のご家族等で被害に会われた方がいらっしやと思います。地震についてはいまだ余震が続いており、心配な日々を送られていることと思います。当院は災害拠点病院(県内約30医療機関)となっており、神奈川県下の病院が合同で防災訓練を行なっています。また、災害時の対応として薬品等の備蓄や電気等の供給が止まった場合でも、自家発電設備を使用して病院の機能が停止しないようになっています。万が一災害が発生した場合でも十分な医療が提供できるよう万全の対策でおりますのでご安心ください。皆様のご家庭でも、もしものことを考えて防災対策を見直してみてもどうでしょうか? 広報委員会 委員 中山 道広

北部病院だより 第25号
平成16年11月12日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第25号

第25号【2004/11/12 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『もし手術が必要と言われたら』
消化器センター 助教授 田中 淳一
イベント情報
昭和大学公開講座(西棟4階講堂)

ボランティアさんの紹介
医師の配属・異動・退職
診療統計
外来担当表
患者さまへのお知らせ・お願い
ロビーコンサート日程

患者様からのご意見・ご要望



着水の舞!!!

巻頭言

『もし手術が必要と言われたら』



消化器センター
助教授
田中 淳一

消化器センターで外科を担当しております。消化器センターは内科系と外科系の医師で構成され、消化器疾患の専門医集団として診断から治療までを扱っており、外科系チームは消化器疾患の外科治療、主としてがんの手術を担当しております。がん細胞を完全に身体から取り除く手術が治癒切除であり、これまで多くの外科医が病期に応じた適切な治癒切除の術式を開発し、標準化してきました。一方、治癒切除を目指すあまり、拡大手術に走り過ぎ、その代償として術後の重篤な合併症、後遺症という犠牲を患者さんに強いてきた面もあります。そこで反省として術後の食事や生活の質を向上させるために機能温存、臓器温存術式が考案されました。たとえば胃がんではなるべく胃を大きく切らずに神経を温存する手術や直腸がんでは人工肛門を造設せず、膀胱機能などを犠牲にしない手術、などがあります。もちろん早期癌では外科的切除ではなくポリープ切除や粘膜切除のようにお腹を切らずに内視鏡的切除が行なわれるようになってきました。このようにして長い時間をかけて消化器がんの外科治療が発展、改良されてきました。これらは先輩外科医のたゆまぬ努力の賜物であり、貴重な財産です。

一方、約10年前から腹腔鏡下手術が胆嚢摘出術を中心に普及し、腹腔鏡下胆嚢摘出術は今や標準手術になったといっても過言ではありません。大腸がんや胃がんでも内視鏡的切除のみでは治癒切除が不可能なものに対し、ただちに創の大きな開腹手術を行なうのではなく、腹腔鏡下手術が開発応用され、日本においては大部分が保険診療として認められるようになってきました。ただし、この手術は手技が比較的困難で外科医が習熟するまでに時間がかかり、手術時間も長い傾向にあります。しかしお腹の創が小さいため手術後の痛みが少なく、食事が早く始められ、入院日数が短く、最終的に元の生活に早く戻れることとなります。当センターではこの腹腔鏡下手術に経験ある医師が多く、開院以来この手術を進めてきており、学会や研究会でも指導的、精力的に活動しております。患者さんは県内、国内のみならず、海外からも紹介されているのが現状です。

さて、急速に発展する情報社会は医療の現場にも容赦なく押し寄せ、毎日のように医療事故、医療ミスが報じられております。そのひとつに腹腔鏡下手術による医療事故が大きく取り上げられ、日本内視鏡外科学会でも適切な対応策を講ずるべく、内視鏡外科技術認定医の制度を今年8月立ち上げました。内視鏡外科手術(腹腔鏡下手術や胸腔鏡下手術、また婦人科や泌尿器科の腹腔鏡手術も含む)は体表の創は小さくてもお腹や胸の中での手術内容は開腹や開胸の手術とまったく変わりません。したがって術後の合併症は従来の手術で予想されるもの以外に内視鏡外科手術に特有な偶発症、合併症も考慮されなければならず、むしろ一旦合併症が発症すればせつかくの低侵襲性手術が台無しでかえって侵襲が大きくなることさえあります。先端医療が患者さんに福音をもたらすのは明らかですが、特有のリスクがあります。もし手術が必要と言われたら、病態や治療方針をわかりやすく説明し、納得のいくまで説明をしてくれる経験ある外科医に相談しましょう。そして適切な、満足できる治療を安心して受けることのできる病院を選びましょう。

北部イベント

昭和大学公開講座

西棟4階 放射線専門学校講堂

10月25日に今年度2回目の昭和大学公開講座が開催されました。演題は内科福井俊哉助教授による『物忘れは本当に痴呆の始まりですか？ - アルツハイマー病を中心とした痴呆のお話 -』、内科坂下暁子専任講師・看護部澤田祐子師長心得による『緩和ケアQ&A』の2つでした。記録的な猛暑だった今年の夏が終わり肌寒くなってきたなか、今回の公開講座にも多数の応募があり、たくさんの市民の皆さまに参加いただきました。



1 題目の『物忘れは～』については、以前から公開講座に出席された方のアンケートでリクエストの多かった演題でありました。また、最近「痴呆」や「アルツハイマー」という言葉をテレビや新聞でもよく目にしており、高齢者本人及びその家族が日常生活の中で直面する病気の一つとしてたいへん興味深い話題でもあります。受講者の皆さまが講師の説明一言一言にうなづき、メモをとりながら熱心に聴講されていました。

2 題目の『緩和ケア～』については、緩和ケアとはどのようなものか当院の施設の案内等を交えながらのお話でした。また、以前緩和ケア病棟に入院しておられた患者さまのご家族に入院中の体験談をお話していただきました。『家族が病気となり突然始まった闘病生活による普段の生活や気持ちの変化』や『入院中、スタッフからの励ましや気遣いなど心のケアにたいへん救われた』というお話でした。

ボランティアさんの紹介

今月は、平成15年6月より、外来を中心にいつも明るく活躍いただいているボランティアさんの紹介です。

大崎 啓子さん

長年住み慣れた土地から、こちらに引っ越してきて、早くこの地域に馴染みたいと思い、病院ボランティアを始めて1年半になります。患者様は地域の方だけでなく、遠い他県から通われている方も多く、お尋ねになる事も病院内の事だけで電車の乗り継ぎやバス停、銀行の事など様々です。自分の頭ではわかっている事でも、口でわかりやすく説明する事の難しさを痛感しています。わからない事はまだまだたくさんありますが、黄色いエプロンの私たちを見かけたら、どうぞお気軽にお声をかけてください。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

11/1付【10/2～11/1】

下田 良
(消化器センター)

佐賀医科大学
平成8年度卒

小林 泰俊
(消化器センター)

大阪医科大学
平成12年度卒

鎮西 亮
(消化器センター)

徳島大学
平成13年度卒

乾 正幸
(消化器センター)

信州大学
平成13年度卒

若村 邦彦
(消化器センター)

昭和大学
平成14年度卒

野口 知子
(消化器センター)

昭和大学
平成14年度卒

退職医師 長期出張含む

10/31付【10/1～10/31】

細谷 寿久 (消化器センター)
林 武雅 (消化器センター)

和田 祥城 (消化器センター)

診療統計

2004年9月統計データ ()内は1日平均

外来患者数 27,552人(1148.0人)、入院患者数 16,715人(557.2人)、救急車搬送件数 367人(12.2人)、手術件数 400件(20.0件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成16年11月1日改訂

診療科	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初再診)		鹿間裕介(再診)	大塚寿々子(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初再診)	神尾義人(再診)	門倉光隆(再診)	栗生和幸(初診)	医局員(初診)
消化器センター	空原慶太(初再診)	空原慶太(初診)			中神和清(再診)		空原慶太(初再診)	空原慶太(初再診)	空原慶太(初再診)	大塚寿々子(再診)	
循環器センター	緒方信博	丸田一人	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		岡林宏明	加藤源太郎	医局員
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		松丸憲太郎	西岡玄太郎	秋元洋一		野崎伸次		西岡玄太郎
精神神経科(再診)	伊川太郎		秋元洋一		野崎伸次	工藤行夫	吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
緩和ケア											中村明央
内科(23-2)		大野恭史(一般内科)			菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	大野恭史(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科消化器)	福井俊哉(内科消化器)	福井俊哉(内科消化器)	福井俊哉(内科消化器)	福井俊哉(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)
内科(25-1)	井上幸治(内科神経)		渡邊浩之(一般内科)		渡邊浩之(一般内科)						
内科(25-2)											渡邊浩之(一般内科)
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		嶋田 顕(内科腫瘍)		富田高重(第1内科消化器)
内科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)		三上哲弥(内科消化器)		山本真寛(一般内科)		緒方浩顕(内科腎臓)		山本真寛(一般内科)	緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)			辻 正富(糖尿病、内分泌)		辻 正富(糖尿病、内分泌)		伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分泌)		伊藤英利(内科腎臓)
小児科	野中善治	神経外来予防接種	梅田 陽	乳児検診 7:30-7:45 外来	北澤重孝	心臓外来 腎臓外来	野中善治	成育外来 7:30-7:45 外来	梅田 陽	乳児検診 7:30-7:45 外来	医局員
小児科	曾我恭司		曾我恭司		梅田 陽		曾我恭司		京田学晃		医局員
小児科	高野忠将		野中善治		京田学晃	心理相談	松岡 孝	心理相談	高野忠将		医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 眞田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造		島田洋子		濱口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	濱口太造	松村卓美	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	松村卓美	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	松村卓美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術	松村卓美	外来手術	佐々木雅美	外来手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村明央(奇) 新井一成(偶)
外科					山崎智己		福成信博(第1木)	井関雅一(偶)	成原健太郎	岩波正英(偶)	黒井・山崎(偶土のみ)
形成外科	大塚尚治				大塚尚治				大橋正和		大塚(奇) 大橋(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員		広田暢夫	退院後外来	畑山和己		広田暢夫		広田暢夫(奇) 畑山和己(偶)
脳神経外科(再診)	畑山和己	予約のみ			池田尚人		広田暢夫		池田尚人		池田尚人
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診 予約のみ	山村拓也		松久孝行	ギプス診 予約のみ	山村拓也		山藤 賢		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		山藤 賢		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科(初診)	鈴木紀雄(奇)	安藤直子(偶)		高橋 諄(中山 健)		高橋 諄(宮本真豪)	小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科(12-1)	近藤哲郎			小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄	
産婦人科(12-6)	高橋 諄	中山 健				特殊診 予約のみ		宮本真豪			特殊診 予約のみ
産婦人科(12-8)	小川公一			鈴木紀雄		特殊診 予約のみ	近藤哲郎		高橋 諄		安藤直子 特殊診 予約のみ
産婦人科(12-6)				中山 健		宮本真豪			栗城亜具里		
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査) 予約のみ	椎木一彦		深澤 立	深澤(検査) 予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一	島田 誠	菅原 草(再診)	
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	深澤 立		青木慶一郎	青木(検査) 予約のみ		椎木一彦	佐々木春明	佐々木春明(男性外来予約)	医局員(初再診)
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ	
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直	特殊診(紀平)	紀平弥生		小池正直	特殊診(小池)	紀平弥生		小池正直(奇) 紀平弥生(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(中村)	玉井裕子		紀平弥生	特殊診(紀平)	玉井裕子		玉井裕子(奇) 岡田法子(偶)
眼科	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子			岡田紀子	特殊診(岡田)	中村 徹	中村 徹	中村 徹(偶)
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来 予約のみ	池田尚弘(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来 予約のみ	柳/徳丸(初診)		医局員(初診)	歯科装具 予約のみ	医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	徳丸岳志(再診)		油井健史(再診)	レザ- 外来 予約のみ			門倉義幸(再診)	いびき外来 予約のみ			
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎	めまい外来 予約のみ	柳裕一郎				池田尚弘				
耳鼻咽喉科13-5					小児外来 予約のみ		補聴器外来 K 予約のみ		補聴器外来 N 予約のみ		

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。